

実りの秋

9/25 5年生稲刈り体験



東成瀬村



議会だより

higashinara

令和6年10月21日発行

No.219



議会ブログはこちら

R5年度決算 ...

4



管外視察レポート ...

18



議会の動き ...

20



7月の大雨災害に係る専決処分含む補正予算を可決！

9月定例会議は、9月3日から20日までの18日間の審議期間で開催されました。報告5件、人事案1件、条例案3件、議決案1件、契約案2件、予算案7件、決算認定7件の合計26件を審議。陳情2件を採択として、議員発議の意見書1件、決議2件、議員派遣1件を含むすべての議案を、全会一致で原案のとおり、可決・同意・認定しました。

2日目には一般質問が行われ、6議員が登壇し村政を質しました。

最終日に可決された、議会改革特別委員会の設置については、委員長を伊勢谷勝美議員、副委員長を佐藤仁議員と決定したことが報告されました。

主な条例

○国民健康保険条例の一部改正

・マイナ保険証への切り替えに伴い、条例を改正するもの。

○包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部改正

・地域包括支援センターにおける職員の配置基準について、人員確保が困難となっている状況を踏まえ、これを緩和するため、条例を改正するもの。

7月24日から大雨で、村内各地で土砂崩れなどの被害が多発した。村内では避難所が開設された。



最終日、決算特別委員長による委員会報告

変更契約

○栗駒山荘大規模改修建築工事

- ・契約の方法 指名競争入札
- ・契約の金額 変更前 194,370,000円
変更後 203,654,000円
- ・変更の理由
工事の過程で建物不可視部の腐食が確認されたこと、またトップライトからの遮光等のためフィルムを貼り付ける必要が生じたため。

○栗駒山荘大規模改修機械設備工事

- ・契約の方法 指名競争入札
- ・契約の金額 変更前 138,050,000円
変更後 144,012,000円
- ・変更の理由
設備の試験運転、最終確認の中で不具合のある設備を確認し、追加修繕の必要が生じたため。

人事

- ・議会の同意を必要とし、任期満了となる教育委員の人事案が提出され、全会一致で同意した。

教育委員

佐々木 知子（蛭川）

※再任

（任期）

令和6年10月17日から

令和10年10月16日まで

監査委員の決算審査意見

【審査結果】

審査に付された一般会計及び特別会計の歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書の計数は、それぞれの関係諸帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。
各基金の管理については適正であると認められた。

【審査意見】

実質収支は全会計とも黒字決算となつているが、実質単年度収支で見ると、特別会計においては国民健康保険特別会計（事業勘定）と後期高齢者医療特別会計の2会計が赤字となつている。
赤字解消に向け一般会計・特別会計が一体となり適正な運営を望む。

今後の行財政運営にあたり、歳入においては、村税等の不納欠損処分が行われている状況ではあるが、収納率は前年より0.1ポイント増加しており、滞納繰越額も減少傾向にあるので、引き続き積極的な収納対策に取り組み、収納率の維持向上に努められたい。
歳出においては、移住定住に

向けた事業費の増加が顕著であるが、事業実施に伴う歳入が見込まれる場合であっても内容を十分に精査した上で進めてもらいたい。
住民生活の維持、公共施設等の維持管理を念頭に置きつつ、既存事業や各種維持経費を必要に応じて見直し、経常経費の削減に努められたい。

行財政運営においては、少子高齢化、人口減少社会を前提に中長期的な財政計画に基づいて健全な運営に努められるよう望むものである。

職員においても村政全般の状況を理解共有し、歳入の確保に努めるとともに、社会情勢の変化に的確に対応していくことが必要であり、今後とも持続可能な行財政運営に努め、英知を結集し邁進される事を期待する。

監査委員

富田 幸市
佐藤 仁



富田 幸市



佐藤 仁

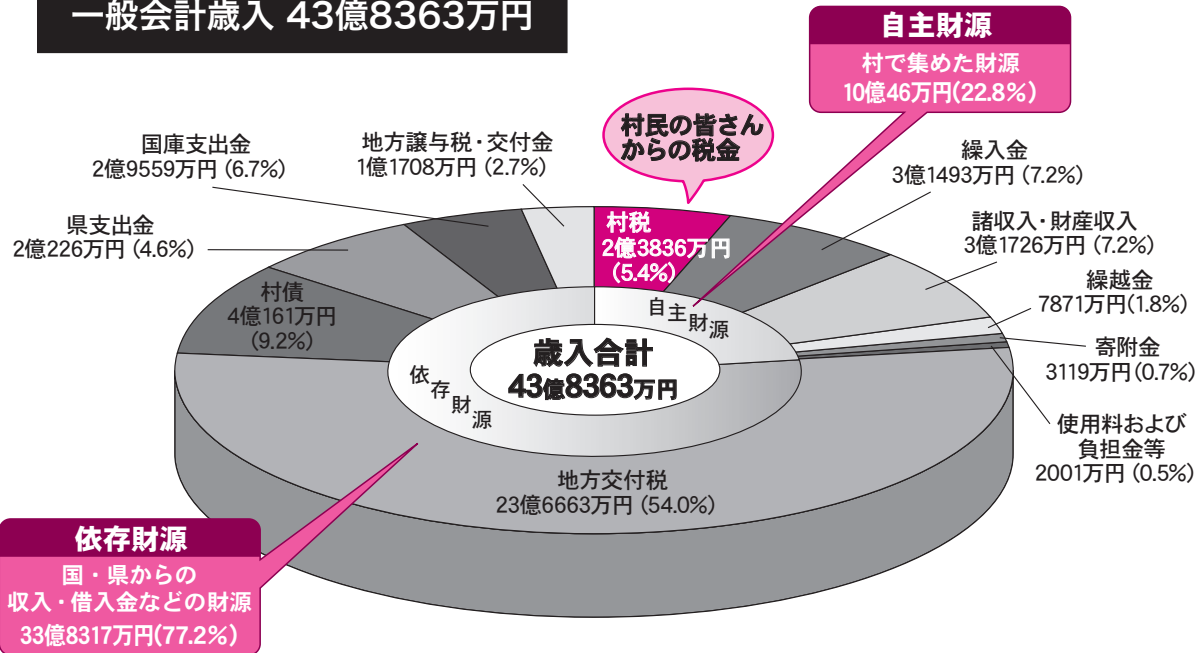
R5

決算認定

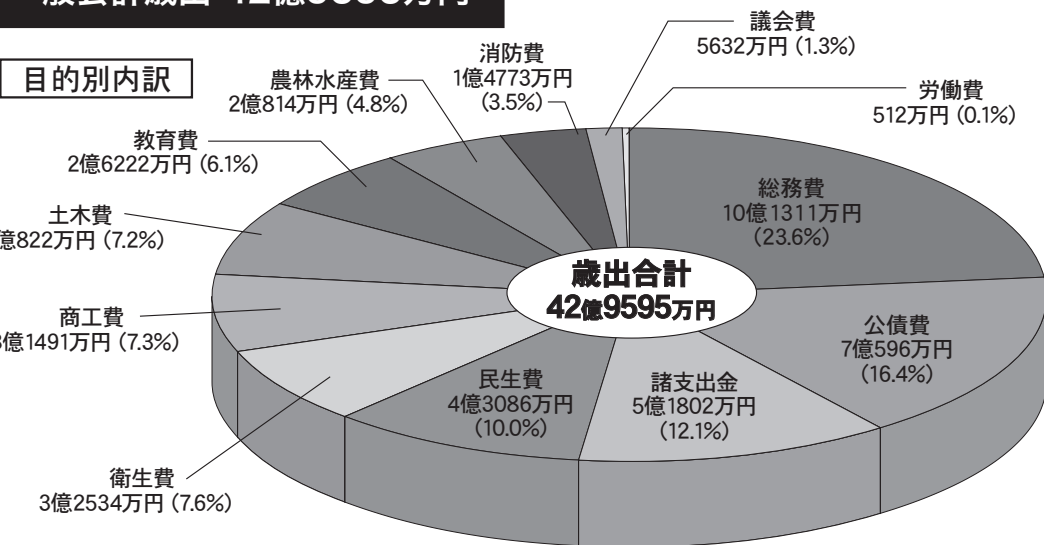
地方交付税が大幅増!

地域おこし協力隊員増が主な要因

一般会計歳入 43億8363万円



一般会計歳出 42億9595万円



■各会計の決算額

会計名	歳入(収入)	歳出(支出)	差し引き	収入未済額	
一般会計	43億8363万円	42億9595万円	8768万円	1563万円	
特別会計	国民健康保険(事業勘定)	2億4950万円	2億4882万円	68万円	329万円
	国民健康保険(直営診療施設勘定)	9164万円	8518万円	646万円	—
	後期高齢者医療	3187万円	3025万円	162万円	—
	介護保険	3億9302万円	3億9133万円	169万円	34万円
	簡易水道事業	3億6537万円	3億4284万円	2253万円	81万円
	下水道事業	9895万円	7995万円	1900万円	280万円
	小計	12億3035万円	11億7837万円	5198万円	724万円
合計	56億1398万円	54億7432万円	1億3966万円	2287万円	

※金額は表示単位未満を四捨五入しているため、合計などが一致しない場合があります。

9月定例会議

令和5年度



一般会計のなかみ

1年間で、村民1人あたり
このように使われました

総務費
42.4万円



公債費(借金)
29.6万円



諸支出金(貯金)
21.7万円



民生費
18.1万円



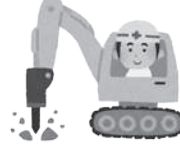
衛生費
13.6万円



商工費
13.2万円



土木費
12.9万円



教育費
11.0万円



農林水産業費
8.7万円



消防費
6.2万円



議会費
2.4万円



労働費
0.2万円

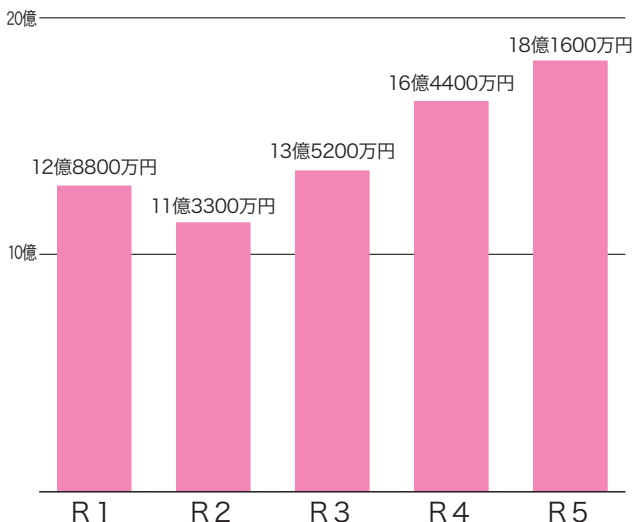


村民1人あたり **約180.0万円**

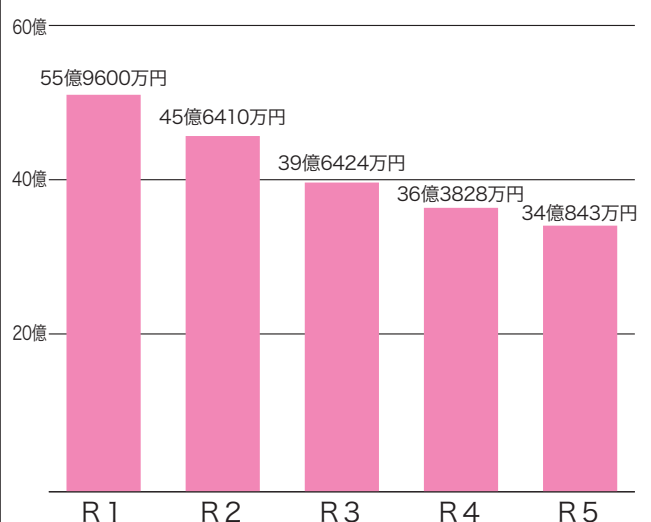
(令和6年3月末日の人口2387人)

※特別会計を含めると約229.3万円使いました

財政調整基金(貯金)の推移



地方債(借金)借入残高の推移



令和5年度決算審査

有効に使われているか！

一般会計

い点も含め、今後また修正を重ねていきたい。

【村税】

民税の滞納繰越

質問 何か特別な事情があったのか。

答弁 廃業した事業所があったため。それに伴い、特別徴収も滞納となっている。

【総務費】

村ホームページ

質問 地域活性化起業人事業として昨年リニューアルし、議会からも提言書が提出されたと思うが、今ひとつ見る側に優しくなく見づらい。

答弁 昨年来ご指摘いただき、起業者の方とも打ち合わせを進めながら、少しずつ改修している。操作が多

協力隊のユーチューブ

質問 当初配信していた間隔より段々更新されるスピードが鈍くなっているのでは。

答弁 村民に焦点を当てたチャンネルでは、どんな人に取材をするかで悩んでいるようだ。その他にもドローンを使った村の四季、自然を撮影し始めており、まとめたものが今後、出てくるかと考えている。

キャンプ場の運営は

質問 協力隊が運営する須川湖キャンプ場は、昨年度は色々課題があったが、今年度の動きは。

答弁 令和6年度から新たに1名の男性の協力隊が運

営を行っている。1名での対応で連日の宿泊は難しい面もあり、週末の営業というところで行っている。できればもう1人程度、協力隊がいれば良いと感じる。



キャンプ場

【民生費】

灯油購入費助成事業

質問 大変歓迎された事業であったと感じているが、

全然使わなかった世帯もあるようだ。

答弁 未使用が8世帯であるが、それぞれ個々に事情があるものと考えられる。あくまでも申請した方への助成事業となっている。

【衛生費】

HPVワクチン接種

質問 接種率は。

答弁 現在のところ、1回でも接種した方は32.2%となっている。

質問 接種率が低いのでは。

答弁 キャッチアップ接種の方には再度通知やLINE等でお知らせしている。こちらでも積極的にPRしていければと考えている。

環境保全事業

質問 害虫駆除用防護服の

貸出しを行っているが、防護服だけか。

答弁 防護服と薬剤散布する機材と薬剤を貸出ししている。

質問 それだけでは片手落ちなのは。熟練した方にやってもらうことはできないか。

答弁 現在のところ、貸出しのみである。やれない方については、専門の業者を紹介している。

【労働費】

資格取得支援事業

質問 資格取得に係る支援事業ということだが、資格取得後に就業あるいは業務に従事しているか。

答弁 把握していないので、今後フォローアップ調査を行っていきたい。

【農林水産業費】

農業委員と農地最適化推進委員の違いは

質問 活動の違いや棲み分けは。

答弁 法律上で区分されている。農業委員は委員会に出席し農地法に基づく権利移動の許可などの議決権を行使する事が主な仕事。

農地最適化推進委員は担当区域内で活動を行うものであり、主に農地に関する情報収集を行い、活動記録に記載し情報提供を行っていただいている。

賃借権の更新時期

質問 農地の賃借権の更新の時期に入ってきている。相談などはあるか。

答弁 法人との賃借権の更新にきている関係で、通知が発送されているところとを聞いています。法人とのやりとりの中で、その通知を受けた方がどこに連絡するかという相談があったの

で、村の方に連絡するようにと話している。

各種生産支援事業

質問 桃太郎トマト、平良カブ、菌床しいたけに関して年々生産量が減少している。これに対する対策は。

答弁 主に生産者の減少が大きく影響している。平良カブについては天候に左右されるのが大きい。補助金の交付の仕方や仕組み、あり方なども今後検討する時期にあるかと考える。生産者や関係団体と協議しながら判断していきたい。

有害鳥獣捕獲奨励金

質問 捕獲された害獣の種類、頭数は。

答弁 クマが20頭、イノシシが7頭の、計27頭となっている。

水田農業支援推進事業

質問 5年間に一度も稲作

の作付けを行わない水田は水田活用直接支払交付金の対象から外される。農家への指導、通知などはしているか。

答弁 春の農業者団体の総会時に説明を行っている。各農家へは、営農計画と一緒に通知も行っている。先月から各農家へ再度通知し、1筆毎に水張りが可能かどうか、アンケート調査を行っている。

【商工費】

中小企業振興融資斡旋資金利子補給金事業

質問 返済については順調か。

答弁 この制度は、商工会を經由し、申請するもので、各事業者が金融機関から借入れをする際に発生する利子について、村が金融機関へ給付するもの。金融機関から滞っているという情報は来ていない。

【教育費】

A・L・T配置事業

質問 常にA・L・Tが2名いる状態は大変画期的なことだと思う。実際生徒の英語力向上、村民の国際的な意識向上という観点から見るとどのように評価しているか。

答弁 ネイティブスピーカーに触れることが一番の基本であり、小さい頃から遊び心を持って外国語に触れることでこの先、グローバル社会の中で活躍する際に身近に感じ取ることができ、非常に良いことだと思う。また、外国語指導においても教科としての英語の成績アップにも繋がる。

特別会計

【国民健康保険(事業勘定)】

財政調整基金

質問 県内自治体で見ても財政規模に対するパーセンテージとして見てもかなりの額が積み立てられている。取り崩して保険料の重税感を軽減できないか。

答弁 基金を取り崩し、本来集めるべき国保税の一部として補填することは難しい。運営する側から見れば、この基金の金額は決して大きくはないと考える。



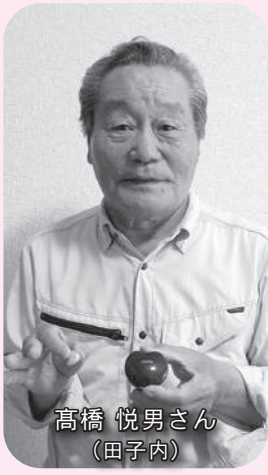
補聴器を 購入しました!

6月議会の補正予算で新規事業として提案され、議決を経て現在実施されている「軽度・中等度難聴者補聴器購入助成事業」。
この事業の助成適用の「第一号」となった高橋悦男さん（80歳）に話を伺いました。

広報を見て…

「二年前前から左耳の聞こえが悪くなって。補聴器を作ろうかと考えてた時にちょうど広報の補聴器助成のチラシを見て、さっそく申請してみました。」

「耳鼻科の先生も『今度から東成瀬でも助成金が出るみたいですね』と。横手の補聴器の店を紹介してくれました。」



高橋 悦男さん
(田子内)

購入に十数万円かかったが、村からの5万円の助成で助かりましたとニッコリ。

「前はテレビの音も大きくしてたから、孫にうるさがられて。今は小さい音でも大丈夫です。話が聞き取れずに何度も聞き返すのも申し訳なかったしね。」と笑顔で語る悦男さん。

趣味のカラオケを続ける上でも補聴器は頼もしい存在です。

みなさんも村の広報にはよく目を通しましょう。大切な情報に出会えるかも知れません!

7月大雨による被害状況は…

災害対策特別委員会

8月21日、災害対策特別委員会を開催し、7月24日からの大雨による被害の状況把握と今後の対応について、当局から説明を受けました。

委員会からは、部落要望箇所と復旧箇所との兼ね合いや、復旧工事の財源について、また防災無線についての質問がありました。

今後の委員会としての対応や、また災害が起きた時の動向についても確認しました。



8月5日時点の被害状況

区分	件数
住家（床下浸水）	1
道路（土砂崩れ等）	20
農地（土砂崩れ等）	4
農業用水路	13
農道及び農業作業道	6
林道及び林業作業道	7
河川	2
その他	3
合計	56



田子内地区 水路氾濫

たか はし せい いち
高 橋 清 一 議員



広報配布等は職員に過負担では

村長 必要な用務で過負担ではない

質問 職員数が減少している中で、広報配布等の実施は職員の負担になっていないか。業務も厳選しながらやるべきではないか。

村長 村民の方々とコミュニケーションをとり、調査相談を受けるといふ多面的な機能を有している。日常業務の範囲内で行っており、今後も実施すべきものと考えている。過負担にはなっていない。

質問 村職員の新規採用が思うように進んでいない、新たな対策は考えているのか。

村長 受験者の年齢制限の問題があり思うよういかな。また他市町村よりも受験機会を増やし対応している。今後は年齢制限の問題や社会人枠の創設も含め検討していきたい。



質問 人事異動等、職員の人事評価の現状は。

村長 異動希望は毎年12月に調査し、人事評価は年2回実施してこれを勤勉手当や昇格に影響させている。

質問 出退勤の確認と時間外の管理はどうしているのか。8時半近くに他市町村で職員を見かけた。定時の出勤に間に合うのかとの声も聞く。タイムカードの導入予定は。

村長 職員の出退管理はグループウェアの管理システムで実施しており、現時点でタイムカードの導入は検討していない。フレックスタイム制の導入によるものと思いが問題がないか確認する。

※一定の期間についてあらかじめ定められた総労働時間があり、その範囲内で日々の始業・終業時刻や働く時間を、労働者自身が自由に決めることができる制度。

道路の維持管理は適正か

村長 村道の部分であり早急に対応

質問 中学校の上のアンテナから、林道滝ノ上線に繋がる道路の刈払いが数年前からされていない。担当から作業道であるので管理の必要がないと言われたが、維持管理に問題はないか。

村長 指摘の路線は村道館ヶ沢線であり、早急に対応する。





被災者への伴走型支援を

村長 不安を消す取組みを検討

質問 ※ 「災害ケースマネジメント」の整備促進と体制作りを国が呼びかけている。被災者に寄り添った伴走型支援が必要と考えるので、今後の村の方針や考えを伺う。

村長 村ではまだこの伴走型支援の仕組みは整備していないが、災害発生時は既存の社会福祉協議会、民生委員、各種社会福祉施設との連絡調整で可能と考える。

質問 今年の大雨被害に遭った県内の自治体では、既存の組織体制で対応できるというイメージだったが、実際の被災者の声は「どういう支援が受けられるかわからず不安だった」という。個人に寄り添い、支援を紹介することの大事さを感じた。被災した自治体では国・県・自治体に分けて個人向けの給付、貸付、猶予の支援策

をまとめているようだ。被災者に説明したところ、安心してもらったと聞いた。このように災害ケースマネジメントの一環として伴走型でやって行くやり方は今後、必要だと感じているので村として再考して検討していただけるよう重ねて伺う。

村長 昭和45年の東成瀬地震を経験し、私も被災した経験から被災者は、本当に不安になることは身をもって感じている。そうしたとき、一番頼りになるのは、行政なので行政からのアプローチは、もっとも大切だと十分認識している。県内における他の自治体の事例を参考にして課題を挙げ、災害時に対応できる取組みを考えていく。



昭和45年発生の東成瀬地震の記事

個別避難計画の推進は

質問 村における避難行動要支援者に該当する人数を把握しているか。また避難行動要支援者の個別避難計画策定は、自治体の努力義務となっているが村の策定状況は。

村長 村の個別避難計画対象者は556人と把握している。平成22年に災害要支援者避難計画を策定して、この計画に基づいて対象者の人数把握や個別避難計画の作成を随時更新把握に努めている。

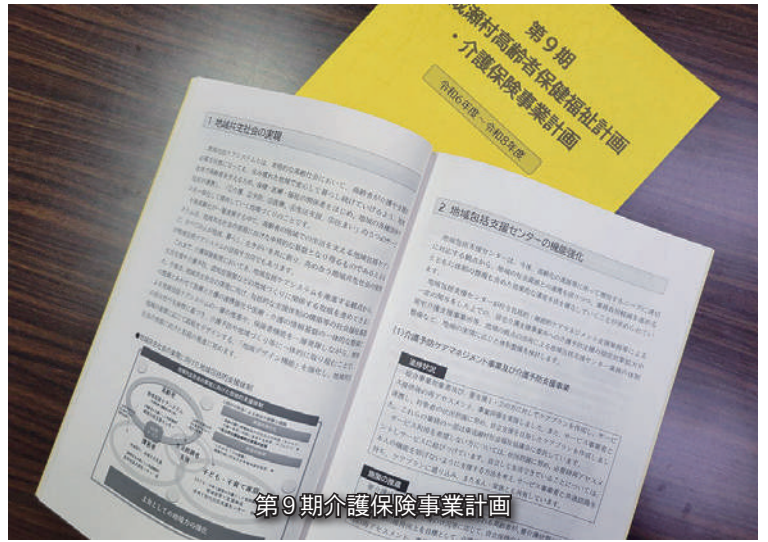
※災害ケースマネジメント…災害に遭った被災者に寄り添い、個別生活状況を把握し、様々な支援を組み合わせ計画を立て、連携して支援をする仕組み。

議員 一人 かず とう 佐藤



訪問看護の充実を

村長 在宅医療強化を整備可能か検討



質問 当村では、自分らしい生活を人生の最後まで続けられるよう、医療、介護、予防、そして生活支援が一体的に提供されることを目指す地域包括ケアシステムの基盤整備が長年に渡り行われてきた。そこで、第9期高齢者保健福祉計画及び

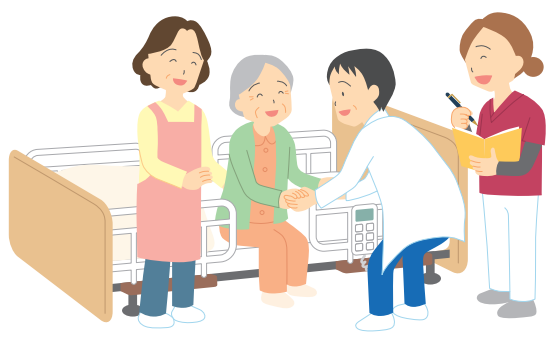
質問 専門性を強化している。訪問看護サービスは、当村の地域包括ケアシステムの在宅医療の分野において、重要な役割を果たすと考えている。R3年とR4年に訪問看護を利用した人数がゼロなのは、訪問看護事業所が村内に存在し

質問 利用者が少ないのは、訪問看護のサービスを受けられることができる、という周知が行き届いていない可能性がある。
質問 村に訪問看護事業所

介護保険事業計画に基づき、東成瀬村の地域包括ケアシステムの今後の課題について伺う。
村長 将来的な課題としては、要介護者・認知症患者の増加による人材不足・財源不足が考えられる。これらの課題に対応するため、健康福祉課を新設し、

ないためか。それとも他に理由があるか。
村長 利用者実績がゼロとなったのは、システム上の表示方法によるものである。実際には、R3年に1人、R4年には2人利用している。表示の改善を図りたい。
質問 利用者が少ないが、訪問看護を必要とする人が適切にこのサービスを受けられていないのではないかと。単に利用促進を求めているのではなく、このサービスを必要としている方々に、担当が選択肢の一つとして提示できる体制が整備されていないのではないかと懸念している。

がないので、他町村の訪問看護が利用できる体制を検討してほしい。具体的には、正当な理由がない限り、本人や家族の希望に沿って医師の指示書等を準備する体制を整えて欲しい。
村長 技術的に可能だと思いが、関係者で勉強会を開いて実現可能か検討していきたい。



たか 高橋 としあき 登志明 議員



事業見直しの方向は

村長 ゼロベースに

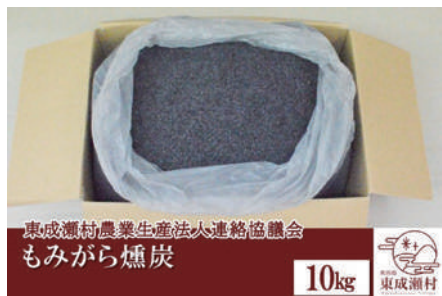
質問 循環拠点施設管理事業は廃止の方向か。

村長 様々な事業をゼロベースに見直している。

将来的な財政負担を考慮し、指定管理者の農業生産法人連絡協議会と協議を進めた。

燻炭^{くんたん}については、土壌改良やふるさと納税でも需要がある。

法人自体が循環農業をしているので、今後も施設を利用したい意向があり、無償貸与による法人運営という方向で進めたい。



ふるさと納税の燻炭
村ホームページより



生ゴミ回収バケツとペレット堆肥

質問 生ゴミ堆肥化事業が廃止となれば、可燃ごみの増加や害獣問題につながる懸念点がある。

循環型社会の実現に向け、持続可能な事業展開ができないか。

村長 ゴミの減量化や循環型社会の構築は、重要な課題で推進しなければならぬ政策の一つだと思う。

「協働の村づくり」の自助・共助・公助の視点から、持続可能な事業へ転換し、全村民に対し生ゴミの減量化の推進を図り協力を仰ぎたい。

学校教育での 性教育は

質問 どのような指導や教育が行なわれているか。

また「はじめて規定」に対する見解を伺う。

教育長 様々な観点から「はじめて規定」を含めた現行の学習指導要領の下で、適切な性教育が行われている。

「はじめて規定」については「生命(いのち)の安全教育」の教育プログラムが作られる過程で、議論が紛糾したが、文部科学省では「はじめて規定」は撤廃しないと言っており、これを確実に推進し、子どもたちが性に関して正しく理解し、適切な行動がとれるよう指導に努めていきたい。

質問 保護者の理解も得ながらやっているか。

教育長 PTAや保護者の了解を得ながらやっている。

令和4年に春叙勲をいただいた長谷川ミサ子さん(岩井川出身)という絵本作家の「はなれるいのち」「宿るいのち」という絵本を寄贈していただき、この教材も保護者の方に説明し、横断的に指導している。



作・絵 岡山ミサ子
岡山明日香(娘)

さとう 藤 ひとし 仁 議員



避難所運営のルールづくりを

村長 作成し住民と情報共有を図っていく

質問 自然災害等で住民に避難指示を行う際の「指定避難所」を円滑に運営するため、必要最低限のマニュアル等のルールづくりが必要と考えるが。

村長 避難所運営のマニュアル化、ルール化は職員そして地域住民、双方にとって有益であり、作成し避難所地域の住民と共有化を図ってきたい。

質問 防災力を高めるためにも、各避難所施設の条件や環境に合った運営マニュアルの作成を。

村長 地域に合ったマニュアルは非常時に効果を発揮するので、作成段階で考慮したい。

また、災害時どう行動するか、行動マニュアルも自主防災組織や地域の方々と一緒に共有しながら作りたい。

本部機能に課題は

質問 避難所でもある災害対策本部の非常電源の確保や外部や地域住民、関係機関との連絡体制、通信機器の運用など本部機能に課題はないか。

村長 災害対策本部となる防災情報センターは、自家発電を実装し、災害を想定



して建てられ震度7くらいの地震でも通信、電源、住民情報とも最低限の機能は有している。課題は、防災情報センターが被災した場合、電源消失、データ消失に関してバックアップ態勢や遠隔地データ保存等、今後考えなければと思う。

避難所内の環境整備を

質問 避難生活の質の向上全般を目的に、村所有の避

難所での災害情報の収集や安否確認のため、通信環境としてフリーWiFi設置、また防災用自動販売機等の設置の考えは。

村長 広域的な災害では行政連絡網として、県防災や通信衛星を経由して特定ルートを通じて安否確認できる体制づくりが望ましいと考える。災害時のフリーWiFiは、通信面や利用数量制限、平時の維持費の面で課題もあり検討していく。

防災用自動販売機について、設置業者の方へ機種変更の協力依頼を行いたい。飲料水に関しては、村の備蓄や災害協定業者のバックアップ体制も最低限整えている。



すぎやま あきら
杉山 彰 議員



自然保護地域での掘削調査は

村長 住民の声を集約し判断

質問 (株)大林組が本村での地熱発電所計画に本腰を入れ始めた。説明会に出された大林組の資料には、村から「大変ありがたい」との意見を得られたとあったが、真意は。また自然保護との整合性や国定特別地域での掘削調査の認可の可能性は。

村長 昨年の6月議会での私の答弁と変わりは無い。大林組からの情報と住民・議会の意見をもとに総合的に判断する。資料の発言は恐らく前村長のもの。「日本で最も美しい村」連合とのコンセプトとの整合性の判断は視点の違いもあり難しい。原則的には国定第2・3種特別地域や「緑の回廊」での掘削は認められないと考えるが、規制緩和も進んでおり、許可を出すのは村でなく県である。

質問 再エネと自然保護の課題が各地で表面化している(青森の新条例への動きなど)。原発に代わる備付け口として大企業が参入する構造もある。村として譲れない線を持って臨まないといけない。彼らに手玉にとられる。彼らが説明会をやりたがるのも優良事例に認定され国定公園の規制を突破するためだ。自然公園法の精神に立ち返っての判断が必要では。

村長 具体的なエリアが示されない段階で私が意見を言う権限はない。情報を得てから判断しても大丈夫と思う。

質問 首長の了解があるかは優良事例への不可欠な要素であり、首長がポイントを握っている。2・3種特別地域、「緑の回廊」での掘削は避けてほしいという姿勢を持って臨むべきと思うが。

村長 大林組も私の意見を無視して許可申請するとは思えない。これから住民・議員の様々な声を集約していくというスタンスである。

農業で若者にアピールしては

質問 農業に興味を持つ若者を見かけるようになった。本村でもこの機をとらえて多様な形態の農業を支援する支援体制をつくり「地球に優しい農のメッカ・東成瀬」を攻勢的に打ち出すのはいかがか。

村長 こうした取組みを当然村は応援するし、指導、相談にも対応している。有機、無農薬栽培には技術、



地域おこし協力隊員による小麦の収穫

生産性、販路の課題もあるが、環境負荷軽減の意味からも支援を検討したい。移住対策としては、現在空き家が無いということがあり、ダム事業が落ち着いてから空き家と遊休農地をセットにして人を呼び込むのが良いのでは。オーガニック栽培となると、農薬を使っている近隣農地との課題もある。

9月定例会議議決事項一覧

令和5年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について
秋田栗駒リゾート株式会社の経営状況を説明する書類の提出について
専決処分の報告について ※令和6年度一般会計補正予算(第4号)
令和5年度簡易水道事業特別会計継続費精算報告書について
令和5年度下水道事業特別会計継続費精算報告書について
教育委員会委員の選任について
国民健康保険条例の一部を改正する条例について
包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
秋田県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について
工事請負変更契約の締結について ※栗駒山荘大規模改修建築工事
工事請負変更契約の締結について ※栗駒山荘大規模改修機械設備工事
令和6年度一般会計補正予算(第5号)
令和6年度国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第2号)
令和6年度国民健康保険特別会計(直営診療施設勘定)補正予算(第3号)
令和6年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
令和6年度介護保険特別会計補正予算(第1号)
令和6年度簡易水道事業会計補正予算(第1号)
令和6年度下水道事業会計補正予算(第1号)
令和5年度一般会計歳入歳出決算認定について
令和5年度国民健康保険特別会計(事業勘定)歳入歳出決算認定について
令和5年度国民健康保険特別会計(直営診療施設勘定)歳入歳出決算認定について
令和5年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
令和5年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
令和5年度簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
令和5年度下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
公契約条例の制定を求める決議について
教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合引き上げを求める意見書の提出について
議員の派遣について
議会改革特別委員会の設置に関する決議について



傍聴しませんか？

会議はどなたでも傍聴できます。
詳しくは議会事務局まで
お問い合わせ下さい。
次回定例会は12月上旬開会の予定！

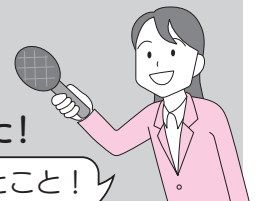
請願・陳情

9月定例会議で1件の陳情が提出され、総務教育民生常任委員会に付託。審査の結果、審査継続としていた陳情含む2件の陳情を採択すべきものとし、要請に基づき決議及び意見書を提出することに決定しました。

採択とした陳情

- 公契約条例の制定による適正賃金・労働条件の確保と地域経済の振興を求める陳情
(陳情者) 秋田県労働組合総連合
議長 越後屋 建一 外1名
- ゆたかな学びの実現及び教職員定数改善並びに義務教育費国庫負担割合引き上げをはかるための、2025年度政府予算に係る意見書採択の陳情について
(陳情者) 秋田県教職員組合
執行委員長 小林 久美子

突撃いんたびゅう



9月議会で一般質問を行った議員に聞いてみました！

- ①今回の一般質問を終えてひとこと！
- ②次回の課題は？

通告1番 高橋 清一 議員
①村民の目線で、今後も対応していく。
②反省を生かしつつ、準備を進めたい。

通告2番 伊勢谷 勝美 議員
①備え有れば憂い無し。
②福祉認知症とガン対策。

通告3番 佐藤 一人 議員
①実行されるように注視したい。
②簡潔でわかりやすい質問をしたい。

通告4番 高橋 登志明 議員
①2事業の方向は理解した。
②他の事業の在り方にも注視したい。

通告5番 佐藤 仁 議員
①避難所の役割と地域との連携、今後の運営体制の整備に期待したい。
②説得力を高めるための十分な情報収集に努めたい。

通告6番 杉山 彰 議員
①質問の構成次第ではもっと核心に迫れた。
②住民の苦難軽減につながる質問をする。

厳しくチェック!

課題解決につながる予算か

令和6年度一般会計補正予算 (第4号)

7月大雨の災害対応

質問 避難所設置がされたが、実際の避難者はどれくらいいたのか。

答弁 岩井川の避難所に1世帯2名のご利用が2日間あった。

質問 避難所の職員配置は、村職員だけだったのか。自主防災組織との協力体制は。

答弁 職員のみで、村内4力所に夜間必ず2名滞在するように配置した。

自主防災組織の代表に、避難所の設置の連絡と、何か協力や依頼があったらお願いしたいという意思疎通を図った。

質問 非常時には村職員だけでは手が足りない場合もあるのでは。例えば自主防災組織に避難所の対応依頼をするなど、普段からの体制づくりが大切では。今後についての考えは。

答弁 今回の件を踏まえて様々な課題もあったので、そういった面には検討を加えていきたい。

令和6年度一般会計補正予算 (第5号)

固定資産税の現年課税分追加

質問 656万4千円の収入増となっているが、この要因は。

答弁 成瀬ダム建設工事関係に係る機械等の固定資産の増加が主な要因。

喫煙所の設置

質問 新しく山村開発センターと地域交流センターゆるるんに喫煙所を設置するということだが、詳しい場所などは決まっているか。

答弁 今回は設計費の計上となっている。場所については今後、検討していく。当然、法令遵守が大前提であり、受動喫煙に配慮した場所となればあまり人通り

の少ないところで、管理のし易い場所を検討していくことになる。

不動滝周辺整備

質問 設計等委託料の追加とあるが。

答弁 不動滝周辺の設計等委託料となる。滝周辺で仙人修行などのイベントを行ったり、観光客が多数来場するが、川を渡る際に遠回りするか、川の中を通過してわたらないといけないため、危険が伴う。安全性の確保や景観に関しても環境整備を行いたい。



光熱水費の高騰

質問 ジュネス栗駒スキー場の電気料が高騰したためとのことだが。

答弁 この電気料については、FM中継局が使用している電気になる。スキー場のリフトから電源を取っている。リフトが稼働しない4月から10月はFM中継局の方で電気料を支払っている。将来の電力の安定確保ということで、電力容量市場が開設されている。4年後の電力の需要量について、業者が入札して金額を決めることになっており、その分が付加されたことによるもの。

危険木伐採委託料

質問 場所はどこか。また、財源となっている森林環境譲与税基金はどれだけ積立が残っているのか。

答弁 今予定しているのは肴沢から蛭川清水辺りまで。水路や道路に支障が発生すると思われる場所の樹木を

伐採する計画である。充当する基金の残高は令和5年度末で1520万7227円となっている。

また協力隊もそれぞれPR活動を行っている。そういったものも今後活用しながら進めていきたい。

地区に2名ということ想定している。今後、地区バランスを考えながら計画的に育成していきたい。

観光ポスターデザイン委託料

質問 観光ポスターのデザイン制作委託料に追加となっているが、デザインのみで印刷費は含まれていないのか。

答弁 ここ10数年、新しいデザインのポスターを作製してはなかったので、今回計上した。今回はデザインのみ委託料であり、来年度以降に印刷を考えている。

観光PRにSNS活用を

質問 ダムまつりの際にSNSやYouTubeを使ったPRが集客に効果があったようだ。今後の観光PRにSNSなどを使っているか。

答弁 イベントの際には大変有効な手段だと感じている。村ではXやLINE等で広報活動を行っている。



防災士の養成

質問 防災士2名の養成に係る経費とのことだが、受講料なのか、登録料なのか。また、防災士を地域に満遍なく配置するようにできないか。

答弁 防災士の養成に係る受講料の経費である。現状では大字田子内地区に2名、大字椿川地区に1名、今回養成するのが大字若井川

質問 児童手当の昨年度に係る負担金の精算が確定したことに伴い、返還するもの。児童手当の場合、翌年度に確定し、返還することになる。

児童手当国庫負担金精算返還金

質問 どういった内容か。

答弁 令和2年度に修正申告をされた方の保険料に差額が生じ、返還を求めているもの。

諸収入、返還金

質問 内容は。

マイナ保険証への切り替え

質問 消費品として、マイナ保険証への切り替えの際にマイナンバーカードを持っている方に発行する資格確認書の台紙代を追加しているが、発行には何人くらいを見込んでいますか。

答弁 マイナンバーカードを持っていない30から50人の他に、保険証と紐付けされていない方も入ると70から80人の発行を見込んでいます。

令和6年度国保特別会計(事業勘定)補正予算(第2号)

令和6年度一般会計補正予算(第5号)の主なもの

歳入	
○村税	
個人住民税増	311万円
固定資産税増	875万円
○地方交付税	
普通交付税増	1582万円
○国庫支出金	
児童手当負担金増	345万円
○繰入金	
国保特別会計(事業勘定)繰入金増	118万円
森林環境譲与税基金繰入金増	450万円
○繰越金	
前年度繰越金増	6288万円
○村債	
臨時財政対策債減	▲183万円
歳出	
○総務費	
財産管理費追加 (喫煙所設置 山村開発センター・ゆるるん)	230万円
ファイアーウォール更新業務委託料追加	118万円
○民生費	
児童手当追加	358万円
児童手当国庫負担金精算返還金	101万円
○衛生費	
国保(直診)特別会計繰出金減	▲220万円
湯沢雄勝広域市町村圏組合負担金追加	108万円
○農林水産業費	
危険木伐採委託料	450万円
○商工費	
村営スキー場指定管理料追加	180万円
設計等委託料追加(不動産周辺整備)	50万円
備品購入費追加(栗駒山荘 椅子・テーブル)	140万円
○消防費	
湯沢雄勝広域市町村圏組合負担金追加	113万円
県消防操法大会経費	100万円
○災害復旧費	
農業用施設 本工事費	1000万円
公共土木施設 本工事費	4160万円
○公債費	
長期債元金減	▲1471万円
長期債元金(繰越分償還分)	2735万円
○予備費	
予備費追加	921万円

レポート

7月10～12日の日程で、常任委員会の管外行政視察研修として福岡県の五ヶ山ダムと佐賀県大町町を訪問し、ダム完成後の周辺整備と移住定住対策を視察研修しました。

五ヶ山ダム ～観光と自然～ (福岡県^{なかがわ}那珂川市^{ごかやま}五ヶ山ダム)

産業建設常任委員会 副委員長 佐藤 一人



五ヶ山ダムの概要

2021年に完成した五ヶ山ダムは福岡市から車で約1時間の位置にある重力式コンクリートダムで、洪水調節や水道用水の確保など多目的に利用されています。ダム湖周辺では四季折々の美しい風景を楽しむことができ、ハイキングコースやピクニックエリアも整備されており、家族連れやアウトドア愛好者に人気です。

五ヶ山ダム周辺にはモンベルが管理する「モンベル五ヶ山ベースキャンプ」があり、ウォールテント式キャンプや電源付きサイト、動物同伴サイトなど、多様なキャンプスタイルを提供しています。管理棟ではテントや寝袋など必要備品のレンタルが可能で、サイクルリングやトレッキング、ロッククライミングなども楽しめます。

モンベル五ヶ山ベースキャンプの概要



五ヶ山ダム周辺はアクセスの良さと豊かな自然環境を活かし、年間2万～3万人が訪れる人気スポットとなっていました。視察では、成瀬ダム完成後に向けた運営や周辺地域活性化の参考になる点が多く、特に官民連携による地域振興が評価できました。ダムは水資源の確保や利水に加え、観光振興にも貢献していることを改めて実感しました。

視察をして感じたこと



先進地
事例を見て、
聞いて!

管外視察

移住定住支援に関する各種取組み (佐賀県杵島郡大町町)

きしまぐんおおまちちょう
総務教育民生常任委員会 副委員長 鈴木 実

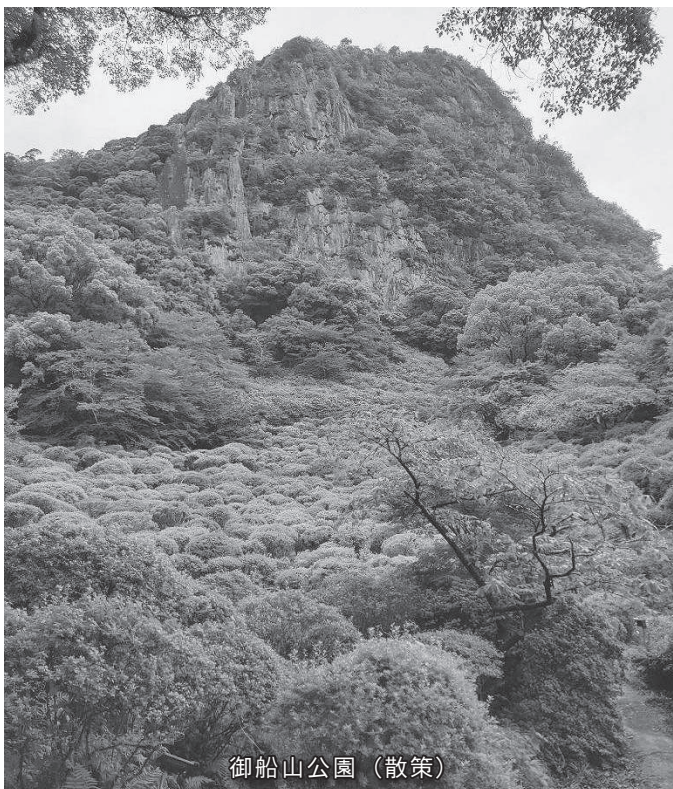


佐賀県大町町は県の中央に位置し、佐賀市や空港からのアクセスも約30分程度の距離にあります。人口は約6000人で、主な産業は農業（米、麦、キュウリ、イチゴ）と畜産（養鶏）で、かつては杵島炭鉱があり、炭鉱町としても栄えていました。

大町町の概要

大町町は、移住定住や子育て支援に力を入れていきます。新築住宅購入への奨励金や中古住宅取得助成、中学生以下の子どもに対する転入加算など、多岐にわたる支援策を実施しています。教育では、地域と連携しながら小中一貫校、コミュニティ・スクール、生涯学習の推進、特別支援教育の充実を図っています。

大町町の取組み



御船山公園（散策）

移住定住支援と子育て支援の具体的施策を確認できました。交通の利便性を活かし、住宅支援から子育て支援まで、住民の定住を促進するための多岐にわたる施策を実施しており、当村でも参考となる具体的な施策が展開されていました。

視察をして感じたこと



武雄市図書館（見学）

第三セクターの経営状況は？



議会全員協議会を開催し、秋田栗駒リゾート株式会社との経営状況について報告を受けました。

議員からは、村からの貸付金について、ホテルブランの夏期営業の方向性に関する事、栗駒山荘の接客について、従業員不足についてなどの質問がありました。

8月21日
議会全員協議会

この学びを糧に！



岩井氏



永田氏

県内町村議会議員を対象に議員研修会が開催され、本議会からは全議員が参加しました。

研修会は、日本大学名誉教授の岩井奉信氏による「今後の政局・政治展望」についてと、関西大学社会安全学部教授の永田尚三氏による「地方が取り組む防災DX」についての講演会でした。

7月19日
町村議会議員研修会

読みやすい議会広報とは？

県内町村議会議員を対象に議会広報研修会が開催され、本議会からは広報対策特別委員含む全議員が参加しました。

研修会では、議会広報サポーター芳野政明氏による広報研修会で、当村の議会だよりもクリニックしていただき、読み手に伝わる議会広報となるための改善点を確認しました。

7月19日
町村議会広報研修会

8月21日
活性化協議会

議会活性化の一環で、議員研修会を開催しました。

研修内容は、9月定例会議の決算審査に向けてのビデオ研修でした。

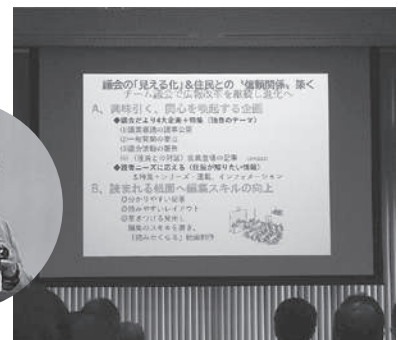
そもそも決算審査とは・・・

決算書はこう見る・・・

住民の声を村政に届けるためどのような質問することが有効か・・・

途中、休憩を挟んで約2時間半の研修でした。

議員研修を実施！



芳野氏

課題事業の今後の方向性は？

○生ゴミ堆肥化事業

村単独事業で財政を圧迫し、村で別に実施する可燃ゴミ収集事業と二重施策になつている課題がある。

今後、財政負担を縮小し、持続可能な事業への転換を行うため、各家庭で自らゴミ減量の取組みが可能な制度の創設に向かつていくことが適切と考えられる。

○EM活性液運搬等業務

村単独事業で財政を圧迫する。また、全戸配布だが使用していない家庭も多い。

この事業については中止すること。一方で必要とする人への対応も必要であるため、製造・販売を一般の方（団体含む）に依頼することが適正と考えられる。製造用機械を譲渡することを要件に、受け手を探し打診することが考えられる。

○仙人ゆりの特産品化

田畑会等で栽培事業者を募ってきたが希望者が現れないため、特産品として活用・販売に至っていない。種の保存を目的に、村が植栽と球根の管理を行っている。

今後は、種の保存を継続しながら栽培や商品化に意欲のある方を探していくことが適切と考えられる。

議会全員協議会を開催

し、村の課題事業に対する現時点での今後の方向性について、当局から説明を受けました。

今回説明を受けた既存事業は、5つの事業についてです。

○循環拠点施設管理事業

公設民営で運営を行ってきたが、維持管理費が多額で財政負担も大きく将来的にも施設を維持していくことが困難になる。

施設の廃止、新たな委託先の確保といった手法を検討した結果、無償でも利用したい希望があったため、現在、指定管理者となっている「農業生産法人連絡協議会」または農業生産法人に無償貸与の手法を採用し協議していくことが適切と考えられる。

○食肉加工施設運営事業

令和5年度から使用されておらず、施設が遊休化している。食肉加工に特化した施設のため、食肉以外の加工品製造に適さない。

今後の方向性として、食肉以外の農産物の加工や特産品開発の場として貸し出す。用途変更及び施設の改修を行い、移住者や事業者向けのレンタルオフィスとして活用していくことが適切と考えられる。

9月18日

議会全員協議会

暫時
ざんじ

休憩
きゆうけい

▼『どうして、こんなにも簡単なことが、こんなにも難しいんだ！』と、叫んだことはないか。

「こちらは自動音声サービスです。お問合せ内容に従い、番号を押してください…電気料金の確認は1、支払い方法の変更は2…」

果てないクイズを何度も聞きながら慎重にボタンを押して答えていく。ようやくオペレーターを呼び出す音楽が流れ、安堵したのも束の間、やがて無情な声が響く。

『ただ今、回線が大変混み合っておりです。しばらく経つてからお掛け直してください。』叫びたくなる衝動に駆られる。

新しい技術は、新しいストレスを生む。IDとパスワードを求められ、振込め詐欺の罠を避ける毎日だ。スマート社会とは、欲しいものがすぐに手に入る社会の事だ。とても便利になった。しかし、『早さ』の代償として、思いもよらない『危うさ』が隣り合わせになっている。

（議員・佐藤 一人）

おすすめスポットここはどこ？

答え：ジュネス休養センター跡 紅葉の赤がひときわ綺麗なところですよ！

夢に向かって羽ばたけ！ なるせっ子

No.15

高校生にインタビュー！



すがわら みく
菅原 美空さん(岩井川)
湯沢高校3年生
趣味：弓道、Quizknock
やK-POPアイドルの
YouTubeを見ること

あなたにとって、東成瀬村といえば？

冬になると雪が多くて大変ですが、自然豊かでのんびりとした時間がゆっくりながれている癒やしの場所です。
学校帰りなどは近所の人達が声をかけてくれ温かい気持ちになります。

将来、どんな仕事を目指していますか？どんな大人になりたいですか？

将来は、テクノロジー技術を活用し人と人を繋ぐ新しいものづくりがしたいと考えています。常に最新の技術を追求し、探究心を持ち続ける大人になりたいです。
東成瀬にも何かの形で貢献できたらいいなと思っています。

友だち・家族へメッセージを！

家族へ・・・じいちゃん、ばあちゃんには大変お世話になりました。テストや早く帰らないといけない時には迎えに来てもらいとっても助かりました。美空がいなくなって寂しくなるとは思いますが、帰ったらまたおいしいご飯を作して下さい^^♪
友達へ・・・みんなそれぞれの将来に向けて頑張っていると思います。今が一番大変な時期ですが、成人式には笑顔で会える事を楽しみにしています！



今号の
ベスト
shot



夜の成瀬ダム工事現場

おすすめスポット

ここはどこ？

今回は・・・
佐々木 悦男 議員の
おすすめ
スポット！

さくら川はせせらぎが
ヒントは、かつて温泉施設が
ありました！
(答えは21ページ)

